

車いす用ワンタッチベルト「キーパー」 取 扱 説 明 書

キーパーご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みいただき
使用上の注意事項、正しい装着の仕方をご理解してご使用
いただきますようお願いいたします。また、取扱説明書はお読
みになった後も大切に保管してください。

1. 安全上のご注意



危 険

- 普通型車いす以外には使用しないでください。
- リクライニング車いすには使用しないでください。
- あばれる患者さんには、転倒する危険がありますので使
用しないでください。
- 拘束帯として使用しないでください。



注 意

- 看護者、介護者の目の届く範囲で使用してください。
- 車いすの車輪とフレームの間、スポークの間等にジョイ
ント部が挟まらないようにしてください。ジョイント部
が破損することがあります。
- 洗濯時、ジョイント部は必ずはめた状態で行ってくださ
い。破損することがあります。
- 商品を改造して使用しないでください。

◆からだの大きい方でベルトが短い場合に
は、オプションでベルトを延長することがで
きる「調節ベルト」があります

2. ご 使 用 方 法

装 着 図	装着の仕方	注 意 点
1	●車いすのブレーキ をかけた状態でキ ーパーの股下部 のベルトを座席と 背もたれ下部のす き間に通します。	●股下部のベルトを座席の 下側(裏側)に通さないで ください。 ●円座等のクッションを使 用する場合はベルトと座 席の間においてください。
2	●患者さんを車いす の最も適した位置 に座らせ、頭を通 します。(Single は、片方の肩にあ てがいます)	●おしりが背もたれの下側 に密着しているか座る位 置を確認してください。
3	●キーパーを胸部 に合わせ位置を 決めます。	●えりぐりが首にかからない ようにしてください。 ●胴ベルトは脇の下側を通 してください。 ●手足を動かせる状態にし てください。
4	●肩ベルトを車いす の背もたれの後ろ に回しジョイントし てから長さを調節 します。	●ジョイント部のオス側メス 側を正しくはめないとジョ イント部が破損することが あります。
5	●最後に胴ベルトを 車いすの背もたれ の後ろに回し、ジョ イントして長さを調 節します。	●正しい座位姿勢が保持さ れているかを確認してくだ さい。